

みんなの掲示板

ジョブカフェしまねからのお知らせ

【①しまね短期仕事体験】
夏休みを利用して、県内企業で業界研究ができます。受入事業所リスト、募集詳細はジョブカフェしまねHPでご確認ください。

※交通費、宿泊費助成あり(条件あり)

【②しまね短期仕事体験サキドリ交流会 参加学生募集】
しまね短期仕事体験のプログラム内容等を事業所から聞くことができるイベントです。

◆日時 ①令和6年8月～9月(3日以上) ②令和6年6月14日(金)17時～19時30分

◆参加方法 ①対面オンライン ②オンライン(Zoomを使用)

◆対象者 最終学年を除く学生※島根県出身以外の学生も参加可

◆申込締切 ①令和6年6月24日(月)※ジョブカフェしまね必着日です ②先着順(定員20名)

◆申込先 ジョブカフェしまねHP

◆お問い合わせ
ジョブカフェしまね
0120-34-0451

島根県労働委員会事務局からのお知らせ

【労働相談会を開催します】
「パワハラ」「突然の解雇」「残業代が支払われない」「勤務態度に問題のある社員に困っている」など、職場でのお困りごとはありませんか。

ひとりで悩まず、まずは専門家に相談してみませんか。

◆日時 令和6年6月23日(日)10時～15時

◆会場 ビッグハート出雲(出雲市駅南町1丁目5番地)

◆料金 無料

◆相談員 弁護士、労働組合役員、会社経営者など※秘密は厳守します

◆対象 労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。パートやアルバイトについての相談も受け付けます。

◆申込締切 令和6年6月18日(火)

◆お問い合わせ

島根県労働委員会事務局
0852-2215450

【中国地区労使関係セミナーin島根】
職場において男女とも育児介護休業が取得しやすく、子育てや介護に対応した柔軟な働き方ができる環境を整える必要があります。

本セミナーでは、専門が労働法で、特に北欧諸国の雇用制度や社会保障制度について研究をしておられる講師が「仕事と家庭の両立の推進に関する講演」を行います。

◆内容
〈基調講演〉仕事と家庭の両立の推進に向けて～北欧諸国の法制度や実情を交えて～
講師 慶應義塾大学法科大学院 教授 両角道代氏
〈労働委員会PR〉労働委員会の業務について
発表者 島根県労働委員会 会長 原市

◆日時 令和6年7月11日(木)13時30分～16時

◆会場 島根県民会館2F 第1第2多目的ホール

◆定員 100名(先着順、事前申込優先)

◆お問い合わせ
島根県労働委員会事務局
0852-2215450

島根県国際交流事業「2024北東アジア交流の翼inしまね」ホストファミリー募集!

島根県の国際交流事業で来県する青年たちのホストファミリーを募集しています。

◆ホームビジット期間 令和6年8月24日(土)

※ホームステイではありませんので、宿泊のご提供は不要です

◆募集対象 2名以上でお住いのご家庭

◆受入れ青年 中国・韓国の18歳～30歳 1家庭につき1名または2名

◆募集締切 令和6年6月20日(木)

◆詳細・申込 しまね国際センターHP

◆お問い合わせ
しまね国際センター
0852-3115056

有害鳥獣の捕獲・駆除実績

町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいています。令和6年3月の捕獲・駆除頭数実績は次のとおりです。

地域	ニホンジカ	イノシシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	2	64	11	172	0	3
横田地域	4	45	18	0	4	1
合計	6	109	29	172	4	4



※その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。有害鳥獣による農作物被害があった場合は、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 農業振興課 農業生産係
有線：20-4000 (内線4336)
電話：52-2679

マイナ保険証を「活用」ください

◎医療機関窓口での限度額以上の支払いが不要に

高額な医療費が発生する場合でもマイナナンバーカードを保険証等として利用することで、ご自身で高額な医療費を一時的に自己負担したり、限度額認定証の申請手続きをしたりする必要がなくなります。

◎医療費を節約できる

紙の保険証での受診よりも、皆様の保険料で賄われている医療費を20円節約でき、自己負担額も抑えることができます。(令和6年3月時点)

詳しくは、厚生労働省WEBサイトでご確認ください。

マイナンバーカード 保険証利用 検索

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

まめネット をご存じですか?

まめネットカードをお持ちの県民の皆さんの診療情報を医療機関等で共有するネットワークです

このような人におすすめです

- 高齢の人 持病やアレルギーがある人
- 複数の医療機関を受診している人
- 在宅訪問サービスを受けている人 (訪問介護など)

詳しくはこちらまでお問い合わせください

NPO法人
しまね医療情報ネットワーク協会
電話：0853-22-8058

左上のステッカーがある医療機関で登録ができます

横田高校 横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」令和6年度がスタートしました。今年度もよろしくお願ひいたします。

この度4月1日付けで横田高校校長として着任しました安食英典と申します。奥出雲町のみならずには日頃から本校の教育活動に対して多大なるご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。今年度も広報奥出雲において「よここうコーナー」として貴重な紙面を頂戴し、本校の学習や活動を紹介させていただけることに大変感謝しております。

ありがとうございます。

私は昨年まで2年間、教頭として横田高校に勤務しておりましたので、実質3年目を迎えます。自身は松江市出身で、奥出雲町での勤務は今回が初めてでした。この間、横田高校や奥出雲町の魅力、また冬の厳しさなどを肌で感じさせていただいております。

先日、奥出雲町ご出身の村田英治さん著書の「砂の器と木次線」を拝読させていただきました。元々推理小説が好きだった私は、松本清張さんのファンでもあり、「砂の器」も映画やドラマで幾度も視聴していました。この本では撮影現場の裏側や俳優・スタッフさんと地元住民との絆などが膨大な取材を基に語られています。また、映画でも大きな存在感を示している「木次線」が、地元産業の



発展や地域の足として貢献していただく書かれています。私は拝読後、本にあるエピソードを踏まえながら再度映画を視聴し、完成度の高さを再認識しました。撮影現場にも実際に足を運んでみたいと思っており、私の奥出雲町への想いは高まる一方です。

この奥出雲町唯一の高等学校として、生徒・保護者のニーズおよび地域の期待に応え、地域から信頼される学校作りを推進して参ります。安心して学べる環境作り、「お互いを高めあう集団づくり」、「持続可能な学校・職場づくり」を柱に、地域や社会の未来をけん引することができる人材を育成することも、「魅力ある学校」を作っていくと考えております。今後この紙面を活用して、本校の魅力を発信して参りますので、目に留めていただけると幸いです。乞うご期待ください。